

# 企業ニュース NTTデータ

(東証プライム : 9613) <https://www.nttdata.com/jp/ja/>

作成者: 村上大志

## 国内金融向けシェアトップ、海外でのプレゼンスも向上

1988年設立。NTTグループ内において、システムインテグレーションを中心としたITサービス事業を手掛ける唯一のプレイヤー。ガートナーリサーチによる2020年のITサービス市場ランキングでは国内総合2位で、市場別では金融向けでシェアトップ。グローバルでも総合6位で、特にスペインやチリ、トルコ、イタリアで高いシェアを誇る。中期経営計画では、26.3期の売上高4兆円超、営業利益率10%などを目指す。22.3期のセグメント別売上高は公共・社会基盤19%、金融21%、法人・ソリューション21%、北米16%、EMEA（ヨーロッパ、中東及びアフリカ）・中南米18%、その他5%。



## 北米、EMEA・中南米ともに黒字に転換

22.3期の連結業績は売上高が2兆5,519億円、前期比10%増、営業利益が2,126億円、同53%増。国内外で売上規模が拡大し33期連続の増収、営業利益は主に海外の収益性改善が寄与し過去最高となった。国内では法人ソリューションが製造業や流通業、サービス業向けでサービス規模が拡大、増収効果及び稼働率の改善で、先行投資費用増をこなして2桁の増益を達成。収益性改善が進んだ海外では、北米が162億円の営業赤字から172億円の黒字に、EMEA・中南米が同じく61億円の赤字から156億円の黒字に転換した。受注高は2兆4,008億円、同8%増。前期に獲得した銀行向け大型案件の反動減などで減少した金融を除く全セグメントで増加した。

23.3期の会社計画は売上高が3兆2,700億円、前期比28%増、営業利益が2,360億円、同11%増。国内では、銀行向けサービスの規模拡大や製造業向けを中心とした高採算案件の増加などを見込んでいる。海外においては収益性の高い案件の獲得に加え、前期に発生した一時的な費用の減少などで引き続き利益率の改善が進もう。2022年10月にNTTと共同出資でNTTデータ傘下に新会社を設立し、NTTの海外事業を統括するNTTリミテッドとNTTデータの海外事業の統合を行う予定。海外事業のさらなる成長に向け、シナジー効果が期待される。

### [株価動向・投資判断]

国内外で売上規模が拡大し、海外では収益性改善が進んでいる。統合による事業規模拡大も期待できよう。

<9613 NTTデータ 業績: IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
21.3	2,318,658 ( 2)	139,173 ( 6)	130,452 ( 9)	76,843 ( 2)	54.8	18.00
22.3	2,551,906 ( 10)	212,590 ( 53)	215,849 ( 65)	142,979 ( 86)	102.0	21.00
23.3 予	3,270,000 ( 28)	236,000 ( 11)	230,000 ( 7)	136,000 ( ▲5)	97.0	21.00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2022/6/3)	2,040 円
年初来高値 (高値日)	2,885 円 (22/5/9)
同 安値 (安値日)	1,851 円 (22/5/13)
予想 P E R (23.3 予)	21.0 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	906.2 円
P B R	2.25 倍
予想配当利回り	1.03 %
(1株当たり配当金年21.00円)	
R O E (22.3)	12.2 %
発行済み株式数	140,250 万株